

REGIONAL ECONOMY

SBC（兵庫県姫路市、山口和也社長）は、運営する日本語学校「SBC姫路日本語学院」の留学生約130人用に姫路市内16カ所に分散していた居住地を1棟に集約する。同学校の留学生に安定した居住先を確保するため、すでに10階建ての賃貸マンションを購入。セキュリティサービスなどを整備し、留学生の一括管理や他の住民とのトラブル防止を図った。

SBCの日本語学校

投資額の一部は日本 留学生の一括管理により、政策金融公庫神戸支店、自然災害発生時のと伊予銀行の事業継続 安全確認の迅速化に役力強化計画関連の協調 立てる。

融資1億7000万円 SBC姫路日本語学院では現在、約140人を活用した。購入した賃貸マンションは3LDKなど計 35戸。同市内16カ所に分散する留学生を順次 移転させる。SBCは

留学生130人ひとつ屋根の下

だ。留学生は最大2年間の長期コース卒業後、ソフトウェアや自動車、ホテル、観光、介護などの専門学校や大学に進学する。ネパールやミャンマーなど、20カ国以上から日本に留学している。SBCグループは建設業界向けなどのソフトウェア開発・販売や労働者派遣などを行っている。また、計4協



同組合を運営・支援し、外国人技能実習生の受け入れ事業も手がけ、現在約2500人の外国人が日本国内で実習している。

ITや建設業など人手不足の運営する日本語学校「SBC姫路日本語学院」



現在約140人の生徒が勉強している

育を核に留学生や地域住民、企業、教育機関、行政が連携し、多文化共生と人材育成を推進する教育拠点の形成を目指している

災害時安全確認を迅速に

業界の外国人労働者の言葉の壁をなくし、働きやすい環境を整えるため、同学院を2019年に設立。日本語教育を核に留学生や地域住民、企業、教育機関、行政が連携し、多文化共生と人材育成を推進する教育拠点の形成を目指している

（姫路）

列島経済